

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【公開番号】特開2000-197131(P2000-197131A)

【公開日】平成12年7月14日(2000.7.14)

【出願番号】特願平10-370991

【国際特許分類】

H 04 Q 7/38 (2006.01)
G 06 F 17/30 (2006.01)

【F I】

H 04 B 7/26 109M
G 06 F 17/30 110G
G 06 F 17/30 170Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月29日(2007.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力手段と記憶手段と通信手段とを具備し、文字メッセージの送受信機能を有する文字メッセージ機能付き携帯電話機において、受信した文字メッセージから、電話番号に相当する文字列を検出し、前記電話番号に相当する文字列を強調表示する機能を備えたことを特徴とする文字メッセージ機能付き携帯電話機。

【請求項2】 前記検出された電話番号に関連する前記入力手段からの所定の入力操作を検出して前記電話番号に対して電話をかける機能を備えたことを特徴とする請求項1記載の文字メッセージ機能付き携帯電話機。

【請求項3】 前記検出された電話番号に関連する前記入力手段からの所定の入力操作を検出して前記電話番号を前記記憶手段に電話帳データとして登録する機能を備えたことを特徴とする請求項1記載の文字メッセージ機能付き携帯電話機。

【請求項4】 入力手段と記憶手段と通信手段とを具備し、文字メッセージの送受信機能を有する文字メッセージ機能付き携帯電話機において、受信した文字メッセージから、メールアドレスに相当する文字列を検出し、前記メールアドレスに相当する文字列を強調表示する機能を備えたことを特徴とする文字メッセージ機能付き携帯電話機。

【請求項5】 前記検出されたメールアドレスに関連する前記入力手段からの所定の入力操作を検出して、そのメールアドレスに対してメールを送信する機能を備えたことを特徴とする請求項4記載の文字メッセージ機能付き携帯電話機。

【請求項6】 前記検出されたメールアドレスに関連する前記入力手段からの所定の入力操作を検出して前記メールアドレスを前記記憶手段に電話帳データとして登録する機能を備えたことを特徴とする請求項4記載の文字メッセージ機能付き携帯電話機。